

「SPring-8 ワークショップーSPring-8とユーザーのさらなる連携を目指してー」
物質基礎分野プログラム

物質基礎分野は、先端計測を駆使して物質の機能を解明する凝縮系物理学を中心とした研究者の最先端の研究発表を通じて SPring-8 の物質基礎研究における今後の利活用について議論する。

1日目 2014年2月1日 (土)

オープニングセッション (全体会合 会場：普及棟大講堂)

13:15ー 来年度のSPRUC研究会組織の概要説明等

物質基礎分野セッション (会場：普及棟大講堂)

13:55ー14:00 開会の挨拶 (有馬孝尚)

セッション1 手法開発 (座長：原田慈久)

14:00ー14:20 若林裕助 (阪大基礎工) 有機デバイスの高度化を目指した深さ分解構造解析

14:20ー14:40 大和田謙二 (原研量子ビーム) リラクサー強誘電体におけるコヒーレントX線散乱実験

14:40ー15:00 林 好一 (東北大金研) 蛍光X線ホログラフィーで観る原子レベルの局所格子歪み

15:00ー15:20 大門 寛 (奈良先端大) 顕微二次元光電子分光器の開発

15:20ー15:40 松井文彦 (奈良先端大) グラファイト・グラフェンの光電子回折・ホログラフィー

15:45ー16:05 吹留博一 (東北大) グラフェン・トランジスタの電子状態のオペランド光電子顕微鏡観察

16:05ー16:20 コーヒー・ブレイク

セッション2 構造物性研究 (座長：若林裕助)

16:20ー16:40 中村将志 (千葉大工) 固体表面、固体液体界面の吸着構造

16:40ー17:00 大坪主弥 (京大理) 放射光回折で明らかにした多孔性配位高分子ナノ薄膜の構造と機能

17:00ー17:20 町田晃彦 (原研量子ビーム) 放射光X線・中性子回折の相補利用による金属水素化物の高圧力下構造研究

17:20ー17:40 高木成幸 (東北大金研) 新規水素化物の高温高压合成

17:40ー18:00 太田健二 (阪大極限セ) 金属流体水素の生成と観測

18:00ー18:20 曾田一雄 (名大工) 高温超高压下合成Nb水素化物およびRu窒化物の電子構造と化学状態

18:30ー19:30 合同懇親会 (食堂)

2日目 2014年2月2日(日)

セッション3 磁性研究 (座長:有馬孝尚)

8:30-8:50 岸根順一郎(放送大学) キラルスピントクスチャーと伝導電子の結合

8:50-9:10 大隅寛幸(理研放射光) キラリティドメインの放射光X線顕微観察

9:10-9:30 筒井健二(原研量子ビーム) 鉄系超伝導体母物質における非弾性X線散乱の理論的研究

9:30-9:50 米田仁紀(電通大) 高エネルギー密度科学状態研究におけるX線プローブの役割

9:50-10:20 コーヒー・ブレイク

セッション4 電子状態、励起状態 (座長:木村昭夫)

10:20-10:40 藤原秀紀(阪大基礎工) 軟X線角度分解光電子分光による酸化物ヘテロ接合界面の電子状態観測

10:40-11:00 松田和博(京大工) 超臨界アルカリ金属流体の電子状態観測

11:00-11:20 Alfred Baron(理研放射光) High resolution IXS

11:20-11:40 細川伸也(熊本大自然) X線非弾性散乱による非晶質物質のダイナミクス

11:40-12:00 寺崎一郎(名大理) 赤外顕微分光で見る電子相の不均一

1200-13:00 昼食

13:00-14:00 総合討論(全体会合 会場:普及棟大講堂)

BLの高度化やSPring-8次期計画に関する議論など

閉会
